

飼い主のいない猫の不妊去勢手術をする熊本市動物愛護センターの職員ら
＝同市東区



熊本市動物愛護センター 来月から無料不妊去勢手術

市では昨年度、公益財団法人どうぶつ基金(兵庫県)が約2600匹を手術したが、市が自前の予算と職員のみで取り組むのは本年度が初めて。

センターによると、手術は原則来年3月まで、火曜と木曜に実施。感染症予防ワクチンの接種やノミとダニ予防の投薬もする。市は本年度分として最大1500匹を想定し、予算に700万円を計上している。

センターの瀬本勉所長によると、昨年度の手術希望者が想定よりも多かったことや、野良猫に関する苦情や相談が増えていることが背景にある。野良猫の数を抑え、手術済みの猫を地域が見守りながら適切に餌を与える「地域猫活動」を広げたいという。

1回につき、1人当たり4匹まで申し込むことができる。センター☎096(380)2153。

(伊藤恵希)

熊本市動物愛護センター(東区)は、市内に生息する飼い主のいない猫を対象に、無料の不妊去勢手術を6月に始める。予約が必要で、予約者自身が猫を捕獲し、手術後に元に戻してもらう。センター職員が獣医師が執刀する。

野良猫増加抑え込め

2023年(令和5年)

5月13日

土曜日

購読・配達のご用は

ミナミムニツリ

0120-374625

紙面のお尋ねは

096-361-3115

(土・日・祝日除く9:00~17:00)

発行所

熊本日日新聞社

〒860-8508

熊本市中央区世安1-5-1

専代表(096)361-3111

© 熊本日日新聞社2023年

熊本日日新聞